



地域とともに歩む、安心・安全・安定の

循環型まちづくりに貢献します。



施設の基礎数値

【施設能力】

172t/日 (86t/日×2炉)

【処理方式】

全連続燃焼式焼却炉(ストーカ炉式)

【発電容量】

定格出力3,800kW(発電機端)

排ガス基準

項目	単位	基準値
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.01
硫酸化合物	ppm	30
窒素化合物	ppm	100
塩化水素	ppm	30
水銀	μg-TEQ/m <sup>3</sup> N	25
一酸化炭素	ppm	30(4h平均値)
ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.05

表中の数値は全て酸素濃度12%換算値

提案のコンセプト

- 実績をもとにした30年間 安心・安全・安定稼働する施設
- 最新技術を結集した環境にやさしい最終処分量ゼロの施設
- 強靱なハードとソフトの対策で災害に強い施設
- 地域と協調し、未来へ継承する開かれた施設

提案の特徴

1 実績をもとにした30年間 安心・安全・安定稼働する施設 特長 信頼性の高い焼却炉

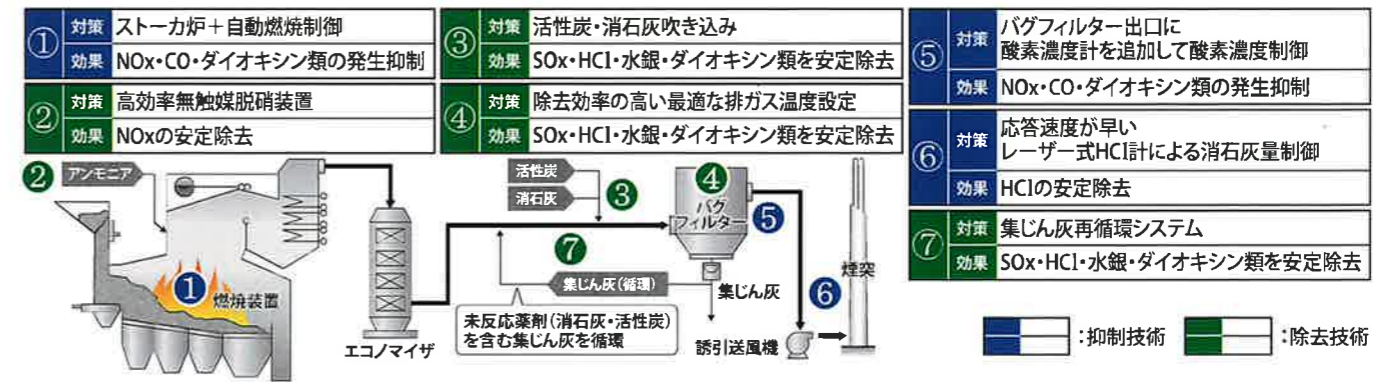
- 技術改善の実績に基づく信頼性の高いストーカ炉を採用
- 燃焼技術を結集して、幅広いごみ量、ごみ質に対応
- 国内最多の稼働実績に基づく維持管理計画、長寿命化計画を策定・実行
- 遠隔監視・運転支援センターにより、本施設を24時間体制で支援し安定稼働を維持



- ごみ質変動に強い燃焼装置
- ボイラー高温腐食対策
- 新型火格子
- 自動燃焼制御
- 高効率無触媒脱硝装置

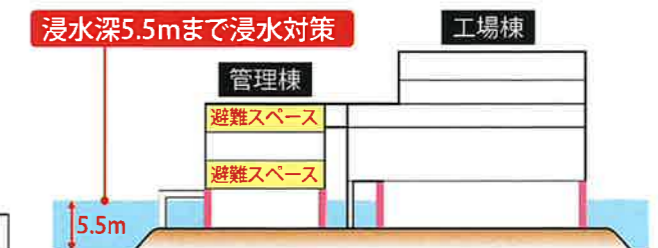
2 最新技術を結集した環境にやさしい最終処分量ゼロの施設 特長 最新技術を結集した排ガス対策

- 排ガス処理の最新技術を結集して公害防止を徹底
- エネルギーを最大限回収する高効率発電システムを採用
- 焼却残渣の全量を資源化し、最終処分量ゼロを実現



3 強靱なハードとソフトの対策で災害に強い施設 特長 災害に強い施設

- 施設の耐震化と現状地盤+5.5mの万全の浸水対策を実施
- 非常用発電機などの設置により災害時も運転を継続し、地域住民の一時避難所を開設
- BCP(事業継続計画)の策定、災害状況に応じた緊急対応マニュアルを整備



4 地域と協調し、未来へ継承する開かれた施設 特長 地域密着型の運営ネットワーク

- 地域に開かれた緑地広場と管理棟を整備し幅広いコミュニティを創出
- 地域住民の皆様、地元の企業様、地元の学生様との積極的な協調により、信頼関係を構築し、未来へ継承する施設

